

VII 授業概要 (シラバス) 山陰中央専門大学校 こども総合学科

教育科目	情報リテラシーと処理技術			教育内容	情報リテラシーと処理技術			
学 科	[こども総合]	開講期	前期	後期	授業コマ数	15	単位	2
開講学年	学科 1年				コマ			単位
授業目標	授業の到達目標及びテーマ パソコンをはじめとする情報機器を実際に操作し、活用できる能力を身につける。 到達目標 1. Windowsの基本操作を理解する。 2. インターネットの基本概念を理解し、活用する能力を身につける。 3. ワードソフトを活用し、基本的な文書を作成する能力を身につける。 4. 表計算ソフトを活用し、表、グラフを作成する能力を身につける。 5. プレゼンテーションソフトを活用し、発表資料を作成する能力を身につける。 6. ホームページの仕組みを理解し、作成する能力を身につける。							
授業概要	情報システムの発展、コンピュータ(ハードウェア・ソフトウェア)、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深める。また、演習を通じ、パソコンの基本操作、表計算ソフトの基本操作を学習することにより、これからの情報化社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付ける。							
成績評価基準	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)				
	小テスト	前期 回、後期 1回		前期 回、後期 1回				
評定方法	定期試験(実技・筆記)にて判定。小テストを加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	英語コミュニケーションⅠ			教育内容	英語コミュニケーションⅠ			
学 科	[こども総合]	開講期	前期	後期	授業コマ数	15	単位	2
開講学年	学科 1年				コマ			単位
授業目標	近頃では幼稚園や保育園に外国人の園児が入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本授業では、英語表現の基礎となる文法・構文の復習を行うとともに、保育の現場で必要な英語表現を運用できる力を身につけることを目標とする。 1. 英語表現の基礎となる文法・構文を運用することができる。 2. 保育現場で使用される英語表現を身につけることができる。							
授業概要	授業の最初に、英語表現の基礎となる文法事項や基本構文の復習および練習を行う。その後、保育園でのさまざまな生活場面を題材にした英文や英語表現の学習を通して、保育者と子どもや保護者とのコミュニケーションに使われる英語表現や連絡事項の書き方を学習する。							
成績評価基準	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)				
	小テスト	前期 1回、後期 1回		前期 1回、後期 1回				
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果及び課題等の提出状況を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	健康科学			教育内容	健康科学			
学 科	[こども総合]	開講期	前期	後期	授業コマ数	10	単位	1
開講学年	学科 1年				コマ			単位
授業目標	食事・睡眠・運動・ストレスが健康へ及ぼす影響や免疫機能と感染症、嗜好品、医薬品について学び、客観的に分析することで健康を保持増進していくことができ、他者への介入手法もわかる。							
授業概要	健康づくりの第一歩は自身の身体および精神がどのような状態にあるかを正しく理解することであり、それぞれの現状を踏まえて健康を保持増進していくための判断材料を増やしていく。本科目では、健康的な生活設計、運動の基礎理論、運動の生理、運動処方および救急法についての基礎的な知識を現代社会との関わりから考え、ヘルスプロモーションへの理解を深め、健康で豊かな生活を送る意義を理解する。							
成績評価基準	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)				
	小テスト	前期 1回、後期 1回		前期 1回、後期 1回				
評定方法	授業態度、提出物、定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	スポーツ(実技)			教育内容	スポーツ(実技)			
学 科	[こども総合]	開講期	前期	後期	授業コマ数	15	単位	1
開講学年	学科 1年				コマ			単位
授業目標	各種スポーツの実践および運営の経験を通して、生涯にわたってスポーツに親しみ健康を保持増進していくことができるようにする。							
授業概要	生涯にわたって運動やスポーツを自ら実践することができる能力を身に付けるため、各種目に関する講義も適宜行い、健康と安全に留意しながら個人的・集団的のスポーツを楽しむことができる作戦の立て方や審判の仕方、競技運営方法を学ぶ。ニュースポーツを含む各種のスポーツを仲間とともに技能面の向上を図りながら楽しむことができ、自己の体力・健康の保持・増進を図ることができる。							
成績評価基準	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)				
	小テスト	前期 1回、後期 1回		前期 1回、後期 1回				
評定方法	実技小テスト・実技・口頭試問にて判定。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本なし							

教育科目	保育原理			教育内容	保育原理			
学 科	[こども総合]	開講期	前期	後期	授業コマ数	15	単位	2
開講学年	学科 1年				コマ			単位
授業目標	1. 保育の意義、目的、課題を理解する。2. 子どもの成長・発達を知り、保育の喜びを理解する。3. 保育内容・保育方法を学び保育者としての役割を学ぶ。4. 保育者の専門性を学ぶための基礎を習得する。							
授業概要	保育の意義・目的を理解するとともに保育に関する法令および制度、保育所保育指針における養護および教育について基礎的な知識を学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)				
	小テスト	前期 1回、後期 1回		前期 1回、後期 1回				
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	姫路大学配本 副読本 『保育所保育指針解説書』(厚生労働省)、『幼稚園教育要領解説書』(文部科学省)、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書』(内閣府・文部科学省・厚生労働省)							

教育科目	保育原理			教育内容	保育原理			
学 科	[こども総合]	開講期	前期	後期	授業コマ数	15	単位	2
開講学年	学科 1年				コマ			単位
授業目標	1. 教育・学校とは何かについて学ぶ。 2. ことごとから育てる計画について学ぶ。 3. 教師の仕事について学ぶ。 4. 「子どもの権利条約」のもつ意義について学習する。							
授業概要	教育の意義、目的を理解し、乳幼児期に育てておくべき姿を視野に入れた乳幼児期における教育の在り方について学習する。 教育の思想と歴史の変遷、国内外的教育制度や法令について理解し、現代的な課題と今後の教育の在り方について考える。							
成績評価基準	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)				
	小テスト	前期 1回、後期 1回		前期 1回、後期 1回				
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本 副読本『幼保連携型認定保育園教育・保育要領解説』(内閣府・文部科学省・厚生労働省)							

教育科目	こども家庭福祉			教育内容	こども家庭福祉			
学 科	[こども総合]	開講期	前期	後期	授業コマ数	15	単位	2
開講学年	学科 1年				コマ			単位
授業目標	1. 児童/家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉需要について理解する。2. 児童/家庭福祉制度の発展過程について理解する。3. 児童の権利について理解する。4. 児童/家庭福祉制度や児童/家庭福祉にかかわる他の法制度について理解する。							
授業概要	多様化する家庭の課題やニーズに関する背景および解決策について、地域の一員という個人としての関わりから保育士という専門家としての関わり方を考える。また、各種施設・団体との連携の意義目的についても学び、組織的に課題に取り組む態度を育てる。							
成績評価基準	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)				
	小テスト	前期 回、後期 1回		前期 回、後期 1回				
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	社会福祉論			教育内容	社会福祉論			
学 科	[こども総合]	開講期	前期	後期	授業コマ数	15	単位	2
開講学年	学科 1年				コマ			単位
授業目標	1. 現代社会における社会福祉制度の意義や理念、社会福祉政策との関係について理解を深める。 2. 欧米、日本の社会福祉の形成過程をたどり社会福祉とは何かを理解する。 3. 社会福祉の実施方法とその原理について学ぶ。 4. 社会福祉政策の構成要素/関連政策/相談援助活動の関わりについて理解する。							
授業概要	社会福祉の歴史の変遷をもとに現代社会における社会福祉の意義を理解するとともに社会福祉制度に関わる体系的な理解と障がい者施策などの社会福祉の動向と課題について学習する。							
成績評価基準	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)				
	小テスト	前期 1回、後期 1回		前期 1回、後期 1回				
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	社会的義識 1			教育内容	社会的義識 1			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. 社会的義識の理解 2. 児童福祉施設での児童義識の実際について学ぶ 3. 里親制度・養子縁組について学ぶ 4. 施設保育士としての専門性を学ぶ							
授業概要	虐待相談件数が増加している中で、社会的義識を要する子どもの未来を育むための自立支援が求められる。子どもの人権をいかに擁護しながら専門職等が連携し、支援していくのか、歴史・制度・実施体系等を踏まえながら現状と課題を学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)				
	小テスト			前期 1回、後期 回				
	前期 1回、後期 回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	教職論			教育内容	教職論			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. 保育の現状を理解する。2. 子ども観、保育観を歴史より学ぶ。3. 制度について理解する。4. 保育者の役割と専門性を理解する。5. 保育者の職務と倫理を理解する。6. 保育制度の動向と今後の保育者のあり方を学ぶ。							
授業概要	保育者および教職員の基本的性質を関係法規とともに学習し、個人としての役割や資質等に触れるとともに施設および組織の職員としての役割についても学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)				
	小テスト			前期 1回、後期 回				
	前期 1回、後期 回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	発達心理学			教育内容	発達心理学			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. 発達概念、発達を規定する要因、発達のメカニズムなどについて理解する。 2. 子ども観や保育観の変遷、それに応じた制度の変化などについて理解する。							
授業概要	発達心理学の定義および発達心理学にかかわる基本的な用語の解説、および生涯にわたる発達についての概要を示す。特に乳幼児期については、発達の知見に加え、学習の意義や実践的な保育への活用法について併せて検討する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 1回				
	前期 回、後期 1回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	こどもの発達と家庭支援			教育内容	こどもの発達と家庭支援			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. 子育てをめぐる親・家族・社会の変化を理解する。 2. 子育て支援の必要性を理解し、今日までの子育て支援策について学ぶ。 3. 園や地域における子育て支援の実際を学ぶ。 4. 地域における子育て支援ネットワークづくりの必要性と課題を理解する。							
授業概要	発育発達について各発達段階に分けて学習するとともに精神的な発達についても併せて学習し、それぞれの段階に対する家族や家庭としての関わりを社会的な背景を踏まえながら理解を深める。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 1回				
	前期 回、後期 1回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	教育課程論			教育内容	教育課程論			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. 保育内容の充実と質の向上に資する教育課程・保育課程について理解する。 2. 教育課程・保育課程の編成と指導計画の作成について、意義や方法を具体的に習得する。 3. 編成・実践・点検・評価・改善の過程についてその全体像を能動的にとらえ、カリキュラム・マネジメントの意義を理解する。 4. 保護者や関係機関との連携について学ぶ。							
授業概要	保育者および教職員の基本的性質を関係法規とともに学習し、個人としての役割や資質等に触れるとともに施設および組織の職員としての役割についても学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)				
	小テスト			前期 1回、後期 回				
	前期 2回、後期 回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	保育内容総論			教育内容	保育内容総論			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	保育の基礎知識を学び、保育所保育指針、幼稚園教育要領に示されている内容を理解し、様々な課題に対処できる保育者として求められる、資質を養う。							
授業概要	保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容の理解から始まり、保育の基本的な考え方や多様な保育の展開について具体的な例を取り扱いながら学習する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 1回				
	前期 回、後期 1回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	姫路大学配本							

教育科目	保育内容(健康 1)			教育内容	保育内容(健康 1)			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	こどもの身体諸機能の発達を知り、発達段階に応じた遊びの意義や内容について理解する。日常生活において、子ども自身が自分の身の回りのことを自分で行う習慣や、集団生活における他者(友だち、教育者、保育者など)との関わり方、健康で安定した生活を送るための態度や習慣を培う指導方法を修得する。							
授業概要	乳幼児期の養護と教育にかかわる保育の内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための発達の援助やかかわりを具体的に学習する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 1回				
	前期 回、後期 1回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートを加味する。							
使用テキスト等	副読本『幼稚園教育要領解説書』(文部科学省)『保育所保育指針解説書』(厚生労働省)							

教育科目	保育内容(人間関係 1)			教育内容	保育内容(人間関係 1)			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	10 コマ	単位	1 単位	
授業目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取扱い(配慮事項)を理解する。実践展開に向けての構想力を育む。乳幼児期の人間関係がどのように育まれるかを学び、保育・教育の実践方法や援助方法について理解を深める。							
授業概要	乳幼児期の養護と教育にかかわる保育の内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための発達の援助やかかわりを具体的に学習する。							
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)				
	小テスト			前期 1回、後期 回				
	前期 1回、後期 回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	副読本『幼稚園教育要領解説書』(文部科学省)、『保育所保育指針』(厚生労働省)							

教育科目	保育内容（環境1）			教育内容	保育内容（環境1）		
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位	1 単位
授業目標	1. 子どもにとって身近な環境とは何か、環境について基本的なことを学ぶと共に、保育内容を構成する環境のねらいと内容について理解する。 2. 子どもの発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解する。 3. 保育の全体構造における環境に関して総合的に指導・援助が行えるような理論や知識を習得する。						
授業概要	乳幼児期の養護と教育にかかわる保育の内容（環境）において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための発達の援助やかかわりを具体的に学習する。						
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト			前期 1 回、後期 回			
	前期 1 回、後期 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。						
使用テキスト等	必要に応じて、資料等を配布。						

教育科目	保育内容（言葉）			教育内容	保育内容（言葉）		
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位
授業目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「言葉」について理解を深めると共に、「言葉」を中心に領域の総合性について学ぶ。						
授業概要	乳幼児期の養護と教育にかかわる保育の内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための発達の援助やかかわりを具体的に学習する。						
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト			前期 1 回、後期 回			
	前期 1 回、後期 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。						
使用テキスト等	田代 和美・松村 正幸編著『演習保育内容言葉』（紀伊国屋）						

教育科目	保育の表現技術（ピアノ）			教育内容	保育の表現技術（ピアノ）		
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位
授業目標	ピアノ奏法を学び、弾き歌いや伴奏法への応用力を身に付ける。また、音楽の様々な要素を能力として定着させるための訓練としてソルフェージュを行う。実技習得は、各自の習得度に応じた個別指導も行う。また、保育において、子どもの発達段階に応じた音楽活動の内容を理解し、こどもの表現技術を引き出すための知識と、実践的な技能を身に付ける。						
授業概要	保育内容に沿ってこどもの音楽表現活動を援助し、こどもの成長過程における豊かな人間形成を育成することをテーマとする。						
成績評価基準	定期テスト 前期・後期			その他（レポートなど）			
	小テスト			前期 回、後期 回			
	前期 1 回、後期 1 回						
評定方法	小テスト、レポート、実技試験						
使用テキスト等	姫路大学配本 適宜、資料配布						

教育科目	表現とこどもの運動			教育内容	表現とこどもの運動		
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位	1 単位
授業目標	こども達が自分の思いや考えを他者に伝えることができるため多くの表現ができる環境設定が大切であることを理解説明し身に付ける。年齢や環境に応じた動きや運動遊びと身体表現を通してこども同士がどう工夫し、表現し、仲間とよりよく関わっていくことができるかを、発達段階に沿って展開させることを学ぶ。						
授業概要	こどもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていくことを理解し、表現遊び運動の実践例からイメージを膨らませ、安全に楽しく表現遊びが展開できる知識及び実践力を理論的に深める。						
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト			前期 回、後期 1 回			
	前期 回、後期 1 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポート・授業態度・提出物の結果を加味する。						
使用テキスト等	豊岡短期大学配本						

教育科目	乳幼児保育1			教育内容	乳幼児保育1		
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期 後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位
授業目標	1. 乳幼児保育の意義・概念と歴史の変遷及び背景と制度について理解する。 2. 保育所、家庭的保育等多様な保育の場における乳幼児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳幼児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域との関係機関との連携について理解する。						
授業概要	乳幼児保育の形と現状、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解し、適切な保育の計画や方法、保護者への支援の習得を目指す。						
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト			前期 1 回、後期 回			
	前期 2 回、後期 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートを加味する。						
使用テキスト等	豊岡短期大学配本						

教育科目	造形表現論			教育内容	造形表現論		
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位
授業目標	保育の内容を踏まえ、幼児造形の指導・援助者として、造形の基本的な知識、形や色、材料、用具、表現技法等の造形の理論をもとに手の動き・感性・造形の思考が一体となった造形活動を理解する。						
授業概要	幼児造形の指導・援助者として形や色等の造形の理論をもとに、えがく表現、つくる表現そして造形あそびの領域と技法について、また、それに伴った材料、用具の特性と利用について理解していく。さらに美術の歴史的展開の概説及び乳幼児造形教育の課題を学ぶ。						
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト			前期 回、後期 1 回			
	前期 回、後期 1 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テストの結果を加味する。						
使用テキスト等	豊岡短期大学配本						

教育科目	音楽表現論			教育内容	音楽表現論		
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位
授業目標	音楽表現技術を身に付けるために必要な音楽理論を理解する。また、「歌う、奏でる、作る」、聞く、動く」の5つの活動を通して学び、保育の現場で行われる表現活動の企画力を修得する。						
授業概要	領域「表現」についての基本的な考え方を学ぶ。 身体表現活動を実践する。楽器を使った表現活動を実践する。						
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト			前期 回、後期 回			
	前期 回、後期 回						
評定方法	実技試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。						
使用テキスト等	豊岡短期大学教材 副読本 『幼稚園教育要領解説書』（文部科学省）『保育所保育指針解説書』（厚生労働省） 『幼児連携型認定こども園教育・保育要領解説書』（内閣府・文部科学省・厚生労働省）						

教育科目	人間関係論			教育内容	人間関係論		
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期 後期	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位
授業目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取扱い（配慮事項）を理解する。実践展開に向けての構想力を育む。 乳幼児期の人間関係がどのように育まれるかを学び、保育・教育の実践方法や援助方法について理解を深める。						
授業概要	社会の構成において人間関係なしに生活していくことは困難であることを踏まえ、人間関係の発達を促す保育者の関わり方について、地域社会の役割とあわせて学習する。						
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト			前期 回、後期 1 回			
	前期 回、後期 1 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。						
使用テキスト等	豊岡短期大学配本						

教育科目	保育の表現技術（造形）			教育内容	保育の表現技術（造形）			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	幼児の造形教育の指導者として、学習の進め方・造形表現の過程・造形分野と指導領域について学習し、平面造形・立体造形の内容について学習する。							
授業概要	表現としての造形について、発育発達に沿った造形表現の在り方、教材の選び方、言葉がけなどについて理論と実践の両面から学習する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 1回、後期 回			前期 1回、後期 回				
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・作品・取り組みの結果を加味する。							
使用テキスト等	島田由紀子監修『12か月の製作あそび209』（新星出版社）							

教育科目	言葉とこどもの文化			教育内容	言葉とこどもの文化			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	領域「言葉」を踏まえた上で、保育の現場で使用される絵本、紙芝居、おはなし等の児童文化財を利用しながら児童文化財がこどものことばの習得にどのように役立つのかを理解する。							
授業概要	1. 言葉の機能を理解し、絵本・紙芝居・おはなし等、優れた児童文学作品に多く触れる。 2. 児童文化財の利用方法について理解する。 3. 学童期へ繋がる言葉について理解を深める。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 回、後期 回 作品に触れた後、紹介や感想をレポートにして提出。				
	評定方法 定期試験にて判定。レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	教育心理学			教育内容	教育心理学			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	・教育心理学の専門的かつ理解の意識を身に付ける。 ・動機づけや学習意欲を高める支援や、社会への適応に関する問題こぼしを考へる力を身に付け、個々の子どもの心身の発達に合わせた、より効率的な保育・教育についての理解を養う。							
授業概要	教育心理学における発達と学習の領域を中心に、「教えること」「育てること」に関する心理学的な考え方を紹介する。「発達」では、幼児期までの発達の特徴や遊びを通じた変化について、「学習」では、動物実験を基礎とした学習理論や、実際の教育現場での指導・評価方法について解説する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 1回			前期 回、後期 1回				
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートを加味する。							
使用テキスト等	姫路大学配本							

教育科目	日誌指導 I			教育内容	日誌指導 I			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	12 コマ	単位	1 単位	
授業目標	実習日誌、指導計画の意義や方法を理解する							
授業概要	保育所における養護および教育において、長期的・短期的な計画を立てるにあたり、計画と実施、評価、改善への流れを助ける日誌の書き方について、目的、書き方、活用手法などの基礎を学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 1回、後期 1回			前期 回、後期 1回				
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	長島和代編『保育の基本用語』（わかば社）							

教育科目	保育実習指導 I			教育内容	保育実習指導 I			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	実習の全体像を見通して、どのように実習したらよいのか、実習に対する心構えを徐々にはぐくむようにして行く。							
授業概要	実習に対し学生の関心を深め、不安を解消するように、また、具体的なことを解りやすく伝える。実習にスムーズに入れるよう指導する。 保育実習 I を振り返り、自己の課題の明確化を図る。また、グループワークを通して、子どもの発達段階に応じた対応方法について、意見交換をし情報の共有化を図り学びを深める。実習を体験し、実際に子どもに関わり、イメージを持ち、次の実習に向けての指導案を立案する。反省を踏まえ、保育実習 II に向けて自己目標を立てる。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期回、後期 回				
	評定方法 レポート・取り組みの評価にて判定							
使用テキスト等	神永直美『フォトラングージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』（前文書林）							

教育科目	保育実習 I			教育内容	保育実習 I			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	80 コマ	単位	4 単位	
授業目標	保育所の保育について、生活や遊びの場に参加・体験することにより乳幼児の理解を深める。 福祉施設の役割・機能や働き方を現場で実習することを通して保育者として働くことの意義を理解し、体得する。							
授業概要	学内での学びを基礎として、保育所の機能、子どもや保育者についての理解を目的として学外で実習する。 施設での実習を通して施設の現状を観察し、施設、子ども、保育士、その他の専門職について体験を通して学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 回、後期 回				
	評定方法 各実習先の評価・取り組みの評価と実習日誌により判定。							
使用テキスト等								

教育科目	保育あそび I			教育内容	保育あそび I			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	35 コマ	単位	2 単位	
授業目標	・5領域から見たアプローチを行いながら、実践的指導力を身に付け、保育者への意欲を高める ・子どもたちの発達に応じた保育活動を計画し、実践できるようにする。							
授業概要	音楽・製作・運動の3つの観点に基づき、それぞれが独立した保育活動を展開できるよう、オムニバス形式で実践的な内容を取り扱う。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 1回、後期 1回			前期 回、後期 回				
	評定方法 授業態度・小テスト・授業の取り組みの評価によって判定							
使用テキスト等	配本なし 必要に応じて、プリント配布							

教育科目	専門演習 I			教育内容	専門演習 I			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位	1 単位	
授業目標	・音楽・製作・運動の3つの観点に基づき、それぞれが独立したオムニバス形式で実践的な内容を取り扱い、それらを保育者として運営できるよう計画し、実践する。							
授業概要	・校内に園児を招待し、音楽・製作・運動の3つの観点に基づいた活動を自分たちで計画し、実践する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 1回、後期 1回			前期 回、後期 回				
	評定方法 授業態度・小テスト・授業の取り組みの評価によって判定							
使用テキスト等	配本なし 必要に応じて、プリント配布							

教育科目	こどもとピアノ (ミュージックコース)			教育内容	こどもとピアノ(ミュージックコース)			
学 科	[こども総合]	開講期	前期・後期	授業コマ数	10	単位	1	
開講学年	学科 1年				コマ			
授業目標	保育の現場で要求されるピアノ実技、弾き歌い、伴奏付け、及び読譜能力など、音楽の総合的な能力を高めることを目標に、基本となる演奏法や運指法、また練習方法を習得するとともに、弾き歌いを含めて曲のレパートリーを増やし、保育現場での実践的な能力を養う。また、「こどもとピアノ」という観点から、こどもの発達段階に応じた指導法について、知識や技術を身につける。							
授業概要	ピアノ初心者から既習者まで、個人の習熟度に合わせたピアノ実技、弾き歌いのレッスンを中心に行い、保育者として必要とされる実践的な演奏技術や指導法を学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他(レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 回、後期 回							
評定方法	授業内の実技試験、授業態度 合格曲数にて判定。							
使用テキスト等	エドナ メイ バーナム 著・大島 正泰 監修・中村 菊子 翻訳『バーナム ピアノテクニック1』全音楽譜出版社							

教育科目	幼児体育Ⅰ(スポーツコース)			教育内容	スポーツⅠ			
学 科	[こども総合]	開講期	前期・後期	授業コマ数	10	単位	1	
開講学年	学科 1年				コマ			
授業目標	運動遊びおよびスポーツの実践を通して、各々の体力向上を目指すとともに、幼児の発育発達と運動のかかわりについて理解し、対象に応じた活動を選択することができる。							
授業概要	幼児期の子どもたちにとって「遊び」は知的・情緒的・身体的な発育発達のうえで非常に重要な要素を含むものであることを理解し、それを踏まえたうえで、対象者に対してどのような運動プログラムを選択するための材料と実践できるレパートリーを増やすための実践を繰り返す。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他(レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 1 回、後期 1 回							
評定方法	意欲態度・提出物・小テストにて判定。							
使用テキスト等	岩崎洋子編『保育と幼児期の運動遊び』(前文書林)							

教育科目	実践ボランティア ※自由選択科目			教育内容	実践ボランティア			
学 科	[こども総合]	開講期	前期・後期	授業コマ数	12	単位	1	
開講学年	学科 1年				コマ			
授業目標	ボランティアを通して、社会や地域のもつ教育力を有効に活用し、奉仕の精神とコミュニケーション能力、主体性を兼ね備えた人材の育成を図り、社会人としての心構えを育む。							
授業概要	事前指導・事後指導に参加する。(1コマ) 地域社会や企業・施設等でボランティア活動を行う。(11コマ)							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他(報告書等)				
	小テスト			実施後 1回				
	前期 回、後期 回							
評定方法	報告書、ボランティア実施先の参加証明、事後指導の提出物により判定。							
使用テキスト等								

教育科目	キャリア演習Ⅰ			教育内容	キャリア演習Ⅰ			
学 科	[こども総合]	開講期	前期・後期	授業コマ数	14	単位	1	
開講学年	学科 1年				コマ			
授業目標	1. 履歴書の書き方(自己分析・企業分析含む) 理解 2. 就職活動に必要な知識・マナーの習得 3. 採用試験に向けたSPI・面接スキルアップ 4. 主食活動早期取り組みへの意識づけ							
授業概要	履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析および就職活動への意識を向ける。またガイダンスに向けた身だしなみ、メイク講座、就活式にて就職活動に必要な基礎知識を身に付ける。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他(レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 回、後期 回							
評定方法	提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。							
使用テキスト等	自主作成プリント等							

教育科目	福祉・社会Ⅰ			教育内容	新入生研修Ⅰ・地域研究・学習発表会Ⅰ・総合体育・事業所関連			
学 科	[こども総合]	開講期	前期・後期	授業コマ数	44	単位	3	
開講学年	教養 1年				コマ			
授業目標	マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 活動を通じ、チームワークの大切さを学ぶことができる。							
授業概要	新入生研修Ⅰ・地域研究・学習発表会Ⅰ・総合体育・事業所関連							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他(レポートなど)				
	小テスト			前期 1回、後期 1回				
	前期 回、後期 回							
評定方法	レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。							
使用テキスト等								

教育科目	カリキュラム論Ⅰ			教育内容	カリキュラム論Ⅰ			
学 科	[こども総合]	開講期	前期・後期	授業コマ数	15	単位	1	
開講学年	学科 2年				コマ			
授業目標	1. 保育における計画の重要性を理解する。 2. 幼児期の学習の特質を理解する。 3. 遊び、生活を通しての学びと系統的な学習との違いと関連を理解する。 4. 幼稚園、保育園における指導計画を作成する。							
授業概要	乳幼児における長期的見直し、保育担当者の共通認識、指導計画の重要性と計画の作成法を扱う。また、「計画・実践・反省」の関連性についての事例を理解するとともに保育の省察から子ども理解と保育の見直しについて掘り下げ、一人一人に即したまいくの実践能力を培う。							
成績評価基準	定期テスト 前期(後期)			その他(レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 1 回				
	前期 回、後期 1 回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	神長美津子、他『新保育シリーズ 教育課程・保育課程論』光生館							

教育科目	ビジネススキルⅠ			教育内容	ビジネス能力			
学 科	[こども総合]	開講期	前期・後期	授業コマ数	17	単位	2	
開講学年	学科 2年				コマ			
授業目標	就職を目前に控え、ビジネスマナーを習得し、ビジネス能力検定3級合格を目指す。							
授業概要	ビジネスとコミュニケーションの基本および仕事の実践について学ぶ。また、過去問題や練習問題を解く。							
成績評価基準	定期テスト(前期) 後期			その他(レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 1 回、後期 回							
評定方法	定期試験にて判定。小テストの結果を加味する。							
使用テキスト等	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 監修『ビジネス能力検定3級公式テキスト』 日本能率協会マネジメントセンター 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 監修『ビジネス能力検定3級公式問題集』 日本能率協会マネジメントセンター							

教育科目	相談援助			教育内容	相談援助			
学 科	[こども総合]	開講期	前期・後期	授業コマ数	13	単位	1	
開講学年	学科 2年				コマ			
授業目標	1. ソーシャルワークの基礎理論を理解する。2. 相談援助の方法と技術を理解する。 3. 相談援助に関わる面接技法の基礎を習得する。4. 保育実践におけるソーシャルワーク理論の応用と事例検討を通じてクライアント理解を深める。							
授業概要	本講義ではソーシャルワーク理論を通じ、クライアントとの援助関係の形成方法とともに面接の技法、クライアントと環境の相互作用などについて、事例ロールプレイを通じて学び、実務に直結する対人援助専門職に求められる相談援助の基本視点とスキルを習得する。							
成績評価基準	定期テスト 前期(後期)			その他(レポートなど)				
	小テスト			前期 回、後期 1 回				
	前期 回、後期 1 回							
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	監修 公益財団法人 児童育成協会編集 編集 松原康雄、村田典子、南野奈津子『相談援助』中央法規							

教育科目	社会的養護			教育内容	社会的養護			
学 科 開講学年	[子ども総合] 学科 2年	開講期	前期(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. 社会的養護の理解 2. 児童福祉施設での児童養護の実践について学ぶ 3. 里親制度・養子縁組について学ぶ 4. 施設保育士としての専門性を学ぶ							
授業概要	本講義では、現行福祉制度における類型別施設養護の意義と、その支援の展開についての基礎的知識を習得する。また、施設における日常生活援助、施設保育士の専門性、特別な配慮を必要とする児童への援助や保護者への援助について学ぶ。さらに、日常的なケア、リビングケア、アフターケア、児童の権利保障及び自立支援計画などについて講義する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他(レポートなど)						
	小テスト 前期 回、後期 1回	前期 回、後期 1回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	監修 公益財団法人 児童育成協会、相沢仁/林浩康 編集『社会的養護』中央法規							

教育科目	こどもの保健Ⅱ			教育内容	こどもの保健Ⅱ			
学 科 開講学年	[子ども総合] 学科 2年	開講期	前期(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. こどもの健康及び安全に関わる保健活動の計画及び評価ができる。 2. こどもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境が理解できる。 3. こどもの疾病やその予防及び適切な対応について具体的に理解できる。 4. こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。 5. 現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解できる。							
授業概要	こどもの成長過程を安全に、より健康的に手助けするにあたり、こどもに多い病気を理解し、こどもへの接し方について総合的に学習する。 また、こどものおかれている制度や環境を理解し、保護者支援についても学習する。							
成績評価基準	定期テスト(前期) 後期	その他(レポートなど)						
	小テスト 前期 3回、後期 回	前期 回、後期 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テストの結果、授業態度を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	こどもの保健Ⅲ			教育内容	こどもの保健Ⅲ			
学 科 開講学年	[子ども総合] 学科 2年	開講期	前期(後期)	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	1. こどもの健康及び安全に関する保健活動の計画及び評価ができる。 2. こどもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境調整ができる。 3. こどもの疾病とその予防及び適切な対応ができる。 4. 救急時の対応や事故防止、安全管理の具体策ができる。 5. 現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解できる。							
授業概要	講義と実技演習で実践に役立つ技術を習得できるように進める。 1. 乳幼児期の特徴と観察点：身体計測技術、生理機能計測技術の学習と演習。 2. 日常に必要な養護技術の学習と演習。 3. 日常に多い病状と対処及び予防について学習と演習。 4. 応急手当法と救急処置について学習と演習。 5. 事故防止と安全対策について具体策の立案。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他(レポートなど)						
	小テスト 前期 回、後期 2回	前期 回、後期 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テストの結果、授業態度を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学							

教育科目	こどもの食と栄養			教育内容	こどもの食と栄養			
学 科 開講学年	[子ども総合] 学科 2年	開講期	前期(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. 五大栄養素について理解する。 2. 離乳について理解し、母子、乳児との関連について理解する。 3. 母乳について理解する。 4. 食事指導について理解する。							
授業概要	普段からあらゆる視点でこどもの食と栄養について興味関心を持ち、向上心を持って高い資質を身につける。							
成績評価基準	定期テスト(前期) 後期	その他(レポートなど)						
	小テスト 前期 1回、後期 回	前期 1回、後期 回						
評定方法	定期試験にて判定。小テストの結果・実技の評価を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	乳幼児保育			教育内容	乳幼児保育			
学 科 開講学年	[子ども総合] 学科 1年	開講期	前期(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. 乳幼児保育の意義・概念と歴史の変遷及び背景と制度について理解する。 2. 保育所、家庭的保育等多様な保育の場における乳幼児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳幼児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
授業概要	乳幼児保育の歩みと現状、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解し、適切な保育の計画や方法、保護者への支援の習得を目指す。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他(レポートなど)						
	小テスト 前期 回、後期 1回	前期 回、後期 1回						
評定方法	定期試験にて判定 小テスト・レポートの結果を加味する							
使用テキスト等	『乳児の生活と保育』みなみ書房							

教育科目	障害児保育			教育内容	障害児保育			
学 科 開講学年	[子ども総合] 学科 2年	開講期	前期(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1.障害児保育の基本姿勢を学ぶ。 2. 障害について理解する。 3.障害児への対応方法を学ぶ。 4.障害のある子どもへも家族への支援を学ぶ。							
授業概要	1.障害児に対する基本姿勢。 2.関連の法律について学ぶ。 3.障害について学ぶ。 4.自閉症児への支援について学ぶ。 5.児童福祉施設での支援について学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他(レポートなど)						
	小テスト 前期 回、後期 1回	前期 回、後期 1回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	監修公益財団法人 西村重穂/水田敏郎 編集『障害児保育』中央法規							

教育科目	社会的養護内容			教育内容	社会的養護内容			
学 科 開講学年	[子ども総合] 学科 2年	開講期	前期(後期)	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	1. 児童福祉施設における社会的養護の意義を理解する。 2. 子どもの心を理解する。 3. 児童福祉施設で生活している養護を必要としている子どもへの基本的な援助・支援内容と方法を習得し、専門性を高める。							
授業概要	社会的養護における児童の権利擁護、保育士の倫理、施設養護及び他の社会的養護の実践について学ぶとともに、個々に応じた支援計画の作成方法と評価、改善の手法について学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他(レポートなど)						
	小テスト 前期 回、後期 1回	前期 回、後期 1回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	監修 公益財団法人 児童育成協会、 編集 相澤 仁、村井美紀『社会的養護内容』中央法規							

教育科目	保育相談支援			教育内容	保育相談支援			
学 科 開講学年	[子ども総合] 学科 2年	開講期	前期(後期)	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	本講義では、「保育所保育指針」にある内容をよく理解し、地域社会における子育ての連携と支援に携われる保育者の育成を目指す。							
授業概要	本講義では、保育実践に活用される相談支援の内容と方法について、基礎理論および具体的な実践事例を含めて学んでいく。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他(レポートなど)						
	小テスト 前期 回、後期 1回	前期 回、後期 1回						
評定方法	定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	監修 公益財団法人 児童育成協会、 編集 西村重穂、青井夕貴『保育相談支援』中央法規							

教育科目	保育・教職実践演習			教育内容	保育・教職実践演習			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	学習知と教育実習等で得られた指導力や実践知とのさらなる統合を図り、使命感や責任感に裏付けされた確かな専門指導力を身に付ける。幼稚園における規模を中心としているが、幼稚園と小学校のつなぎ、保育所と幼稚園の連携等を十分に意識し、教育現場・保育現場で直面する問題に対して対応力を学ぶ。							
授業概要	保育士および教師生活を円滑にスタートできるよう学校現場の視点に立った考え方についてロールプレイング、ブレインストーミングなどを通して学ぶ。具体的には、職務内容、倫理観、他者・他機関等との連携、事例を用いた対応策などである。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他(レポートなど) 前期 回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 1回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等								

教育科目	こどもと言語表現			教育内容	こどもと言語表現			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	8 コマ	単位	1 単位	
授業目標	こどもの言葉の大切さを知り、保育者がどのような関わりを持って言葉の発達を促すか学習する。							
授業概要	保育の現場において役に立つ技術を身につけることと、子どもたちが文化によって自らが文化を創り出す活動や表現ができるようにすることも視野に入れ学習を行う。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他(レポートなど) 前期 回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 1回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	こどもと体育Ⅰ			教育内容	こどもと体育Ⅰ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	8 コマ	単位	1 単位	
授業目標	1. こどもの発育発達に即した運動能力を理解し、年齢にあった基本的な動きや運動遊びをこどもと共に考え指導ができる。 2. 遊具の安全性について認識を深め、こどもたちが安全に遊べる指導ができる。							
授業概要	こどもの運動遊びの特徴や必要性を発育発達の面から理解しながら、図表や実践例から運動遊びのイメージを膨らませ、安全に楽しく展開するための指導方法の援助の仕方について理論的に知識を深める。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他(レポートなど) 前期 1回、後期 1回				
	小テスト 前期 1回、後期 1回							
	評定方法 実技にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	こどもと体育Ⅱ			教育内容	こどもと体育Ⅱ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	8 コマ	単位	1 単位	
授業目標	運動遊びとこどもの成長発達との関係を理解し、運動遊びの種類と遊びのどの局面がこどもの心と体や社会性の成長・発達にどのように役立つのかを理解し具体的な援助方法を習得する。同時に、こどもが楽しく、安全に遊びや運動遊びに取り組むための人的・物的環境について理解を深める。							
授業概要	発達段階に応じた運動遊びを準備し、グループ毎での発表を通して、理解を深め、同時にこども達が自主的に楽しく且つ安全に展開する援助方法を学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他(レポートなど) 前期 回、後期 回				
	小テスト 前期 1回、後期 1回							
	評定方法 実技にて判定。小テストの結果を加味する。							
使用テキスト等	豊岡短期大学配本							

教育科目	こどもと文学			教育内容	こどもと文学			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	1. 乳児から大人を対象とした「よい絵本」選びができる。 2. 子供への読み聞かせを得意分野にする。 3. 現代社会に生きるこどもたちに目をむけながら児童文学についての知識を深める。							
授業概要	1. 優れた児童文学作品に多く触れることで、感動や笑い、驚きなどを体感する。 2. 現場で活用できる「ことばあそび」を実際に行ってみる。 3. グループワークを主に意見交換しながら、作品の魅力についての理解を深める。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他(レポートなど) 前期 回、後期 1回 作品を読むことに紹介文や感想をレポートにして提出。				
	小テスト 前期 回、後期 1回							
	評定方法 定期試験にて判定。レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	永田 桂子 著『よい「絵本」とはどんなもの?』チャイルド本社							

教育科目	こどもと造形表現Ⅰ			教育内容	こどもと造形表現Ⅰ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	8 コマ	単位	1 単位	
授業目標	保育の内容を理解し、乳幼児を含めたこどもの造形の指導援助者として、こどもの発達と保育の中で取り扱う教材に必要な知識とさらに材料・用具の操作体験など実践学習を通して、体験的に技術的なことも学習する。							
授業概要	乳幼児の表現活動の大切さと発達過程や造形的な表現を理解する学習をする。さらに遊びとモノとの関わりから「描く」、「作る」、「造形遊び」などの題材や環境構成、援助のあり方について知識と製作体験を関連付けながら学習も展開する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他(レポートなど) 前期 回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 1回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポート・作品の結果を加味する。							
使用テキスト等	『新造形表現 理論・実践編(幼児教育講座)』三見書房							

教育科目	こどもと造形表現Ⅱ			教育内容	こどもと造形表現Ⅱ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 1年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	8 コマ	単位	1 単位	
授業目標	保育の内容を理解し、乳幼児を含めたこどもの造形の指導援助者として、こどもの発達と保育の中で取り扱う教材に必要な知識とさらに材料・用具の操作体験など実践学習を通して、体験的に技術的なことも学習する。							
授業概要	乳幼児の表現活動の大切さと発達過程や造形的な表現を理解する学習をする。さらに遊びとモノとの関わりから「描く」、「作る」、「造形遊び」などの題材や環境構成、援助のあり方について知識と製作体験を関連付けながら学習も展開する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他(レポートなど) 前期 回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 1回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポート・作品の結果を加味する。							
使用テキスト等	『新造形表現 理論・実践編(幼児教育講座)』三見書房							

教育科目	こどもと音楽表現Ⅰ(声楽)			教育内容	こどもと音楽表現(声楽)			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	20 コマ	単位	2 単位	
授業目標	基礎的なソルフェージュや発声を学び、保育現場に必要な歌唱力を身に付ける。また、子どもの発達段階に応じた音楽活動の内容を理解し、こどもの音楽表現を引き出すための知識と、実践的な技能を身に付ける。							
授業概要	保育内容に沿ってこどもの音楽表現活動を援助し、こどもの成長過程における豊かな人間形成を育成することをテーマとする。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他(レポートなど) 前期 1回、後期 1回				
	小テスト 前期 1回、後期 1回							
	評定方法 小テスト・レポート・実技試験にて判定。							
使用テキスト等	姫路大学配本 適宜、資料配布							

教育科目	保育実習指導Ⅱ			教育内容	保育実習指導Ⅱ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	保育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育士を目指す者としての自身の課題に向き合う。							
授業概要	保育実習Ⅰで修得した知識や理解したこと、また座学で学んだことをもとに子育て支援や指導計画に関する知識を深め、子どもの活動を観察しながら心身の状態を把握するなどの指導技術をさらに高める。また、保育観の確立に向けた課題の探究を行う。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど） 前期 回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 回							
	評定方法 レポート・取り組みの評価にて判定							
使用テキスト等	神永直美『フォトラングージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』（萌文書林）							

教育科目	保育実習Ⅱ			教育内容	保育実習Ⅱ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	40 コマ	単位	2 単位	
授業目標	保育実習Ⅰで習得した知識や理解したこと、また学校で学んだことをもとに保育士としての知識や指導技術をさらに深めるとともに保育観の確立を目指す。							
授業概要	保育実習Ⅰで習得した知識や理解したことをさらに専門的知識を深めるため、保育に参加する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 中期 後期			その他（レポートなど） 前期 回、中期 回、後期 回				
	小テスト 前期 回、中期 回、後期 回							
	評定方法 各実習先の評価と、実習日誌・取り組みの評価にて判定							
使用テキスト等								

教育科目	国語Ⅰ			教育内容	国語Ⅰ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	国語（日本語）に関する基礎的・基本的知識理解を確かにするとともに、今日の国語国字問題や国語教育及び言語生活について考える力を育てる。							
授業概要	各自の言語生活の向上と世界の言語のひとつとしての認識力を持って、母国語としての日本語を尊重し、良くしようとする態度と実践力を養う。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど） 前期 1回、後期 回				
	小テスト 前期 1回、後期 回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	姫路大学配本							

教育科目	教育相談			教育内容	教育相談			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	学校における教育相談とは何か、生徒指導上の有効性、学級経営上の有効性などを理論・技法・態度などの体験を通して学習していく							
授業概要	来談者中心カウンセリング、行動カウンセリング、グループカウンセリング等の理論、技術を講義やロールプレイ（役割演技）を実施しながら、一人ひとりが確実に体得するよう進めていく							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど） 前期 回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 1回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	姫路大学配本							

教育科目	教育制度・行政論			教育内容	教育制度・行政論			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	1. これまでの教育制度・教育行政の機構と機能を理解する。 2. 現在の改革動向を確認し、今後の展望を検討する。							
授業概要	我が国の教育制度・教育行政について学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど） 前期 回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 1回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	姫路大学配本							

教育科目	発達検査法			教育内容	発達検査法			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	・こどもの月別発達について知り検査法を理解する。 ・メリット、デメリットを知り安易な診断を行わないよう学ぶ。							
授業概要	・発達段階を詳しく学び保育現場での活用法。 ・様々な発達検査法を知ることにより、こどもの発達を理解する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど） 前期 回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 1回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	本郷一夫（東北大学教授）/編 『子どもの理解と支援のための発達アセスメント』有斐閣選書							

教育科目	教育方法論			教育内容	教育方法論			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	教育方法の定義・意義・守備範囲など大きな概念について基礎知識を習得し、さらに教育の目標・教育的内容・評価との関係性について理解を深める。また、教育現場における保育・教育の諸問題に対応していく具体的な教授方法や活用方法についての理解を深めることを目的とする。							
授業概要	保育・教育方法の変遷を見つめながら、現在の幼稚園・小中学校の学級経営に関する領域までの保育・教育方法の基礎概念を習得する。テキストを中心としながら、教育現場の諸問題と保育・教育方法の関連性について着眼しつつ保育・教育方法の基礎理論の習得を目指す。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど） 前期 1回、後期 回				
	小テスト 前期 1回、後期 回							
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	姫路大学配本							

教育科目	こどものアンサンブルⅡ			教育内容	こどものアンサンブルⅡ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	50 コマ	単位	6 単位	
授業目標	具体的には、ミニコンサートを企画・発表する能力を身につける。 合唱や合奏等、音楽を通してハーモニーやバランス、タイミングなどを体感し、習得する。 プロジェクト学習によって主体性を培う。							
授業概要	アンサンブルは、人と人のつながりで生まれる。また、学校と園、地域と学校など、つながりは様々である。現場での活動に直結する合唱・合奏などの演奏経験を積む。また、演奏会の企画・発表を学生主体で行う。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど） 前期 1回、後期 1回				
	小テスト 前期 回、後期 回							
	評定方法 レポート、実技							
使用テキスト等	適宜、資料配布							

教育科目	こどもの音楽遊び			教育内容	こどもの音楽遊び			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	保育内容の特に「表現」を理解し、保育の中で取り扱う音楽活動を実践することにより、集団活動と道具を使用した活動についての導入から展開までの指導法を習得する。また、保育者としてふさわしい身体表現能力の向上を目指す。							
授業概要	保育者に求められる音楽活動の技能を学習する。年齢に応じた音楽活動の導入、展開、まとめを通し、音楽遊びの意義と、豊かな人間形成につながる音楽活動になるには、どのように進めたらよいか、体験を通して考察、追求する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 1回、後期 1回				
	評定方法 レポート、実技							
使用テキスト等	適宜、資料配布							

教育科目	こどものレクリエーションⅡ			教育内容	こどものレクリエーションⅡ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	24 コマ	単位	3 単位	
授業目標	こども行事において、保育者として、発達段階に応じた内容を計画し、実践できるようにする							
授業概要	音楽・制作・運動の3つの観点に基づき、保育の行事に必要な実践的な内容を取り扱う。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 1回、後期 1回				
	評定方法 レポート、実技							
使用テキスト等	適宜、資料配布							

教育科目	文章表現・日誌指導Ⅱ			教育内容	文章表現・日誌指導Ⅱ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期（後期）	授業コマ数	13 コマ	単位	1 単位	
授業目標	・レポート作成に必要な技術を学び、基礎訓練を行う。具体的なテーマに取り組みながら、自分の考えをまとめ、相手にしっかりと内容が伝わる文章を書けるようにする。 ・正しい表記や漢字について学ぶ。							
授業概要	1.主張を絞り構成を考える方法を学ぶ。 2.自分の主張を裏付ける情報収集の方法と引用の方法、参考文献リストの作成方法を学ぶ。 3.課題に取り組み、引用しながら持論を展開する方法を学ぶ。自己点検をする。							
成績評価基準	定期テスト 前期（後期）			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 1回			前期 回、後期 1回				
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。							
使用テキスト等	長島和代編『保育の基本用語』（わかば社）							

教育科目	こどもピアノ			教育内容	こどもピアノ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	38 コマ	単位	3 単位	
授業目標	保育の現場で要求されるピアノ実技、弾き歌い、伴奏付け、及び読譜能力の習得を目指す。							
授業概要	保育者に求められる音楽活動の技能を学習する。年齢に応じた音楽活動の導入、展開、まとめを通し、音楽遊びの意義と、豊かな人間形成につながる音楽活動になるには、どのように進めたらよいか、体験を通して考察、追求する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 1回、後期 1回				
	評定方法 レポート、実技試験							
使用テキスト等	『バーナムピアノテクニック1』全音楽譜出版社 『幼児のための音楽教育』神原雅之・鈴木恵津子 監修・編著 石井 恵子・大見 由香・鎌形 由貴乃・竹内 カンナ 執筆 / 教育芸術社							

教育科目	幼児体育Ⅱ（スポーツコース）			教育内容	スポーツⅡ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	38 コマ	単位	3 単位	
授業目標	運動遊びおよびスポーツの実践を通して、各々の体力向上を目指すとともに、幼児の発育発達と運動のかわりについて理解し、対象に応じた活動を選択することができる。							
授業概要	幼児期の子どもたちにとって「遊び」は知的・情緒的・身体的な発育発達のうえで非常に重要な要素を含むものであることを理解し、それを踏まえたうえで、対象者に対してどのような運動プログラムを選択するための材料と実践できるレパートリーを増やすための実践を繰り返す。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 回、後期 回				
	評定方法 意欲態度・提出物にて判定。							
使用テキスト等	岩崎洋子編『保育と幼児期の運動遊び』（萌文書林）							

教育科目	キャリア演習Ⅱ			教育内容	キャリア演習Ⅱ			
学 科 開講学年	[こども総合] 学科 2年	開講期	前期（後期）	授業コマ数	12 コマ	単位	1 単位	
授業目標	1. 就職活動を円滑に行う力を養う。 2. マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。							
授業概要	社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 1回、後期 1回				
	評定方法 レポートなどの提出物及び取り組み状況により判定。							
使用テキスト等	自主作成プリント等							

教育科目	福祉・社会Ⅱ			教育内容	校外研修、学習発表会、総合体育、事業所関連、保育実践演習、職業・企業研究			
学 科 開講学年	[こども総合] 教養 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	62 コマ	単位	6 単位	
授業目標	・マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 ・日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 ・総合体育を通じ、チームワークの大切さを知ることができる。							
授業概要	芸術鑑賞及び考察、発表会、総合体育、ボランティア活動、就職対策							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 1回、後期 1回				
	評定方法 レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。							
使用テキスト等								